

項 目		評 価 の 観 点	自己評価(教職員による評価と平均値)(3・2・1・0)				学校関係者評価(3・2・1・0)		今後の改善に向けて
			昨年度		今年度		中項目の 評価	ご意見・提言等	
			項目別	中項目	項目別	中項目			
主体的・対話的で 深い学び	1	支持的風土を育てる学級・学年集団づくりの実践を行っている。	2.42		2.55		2.88	一人一人の進度に合った自由進度学習は自分のペースが守られ、これからの学校教育に欠かせないことだと思う。 ・図工の作品がオープンスペースに掲示されていることで、子ども相互の認め合いや評価活動が行われてよい。 ・4年生が行っている吾妻川万博(総合的な学習の時間)の取り組みは子どもたちの主体的な深い学びだったと感じた。 ・もっと子どもたちが考えを出し合ったり、グループで話し合ったりしている場を参観の際に見てみたい。	今年度の校内研究の流れを汲みながら来年も研究を進めることによって、児童が主体的に学ぶことができると思う。 ・現況に示されているような課題を踏まえて来年度の校内研究の提案を行っていく。
	2	協同する体験・伝え合う喜び・コミュニケーション能力の育成を図る授業の工夫改善をしている。(ICTの活用を含む)	2.68	2.54	2.59	2.61			
	3	主体的、対話的で深い学びを追求する授業研究や研修会を行っている。	2.53		2.69				
道徳教育の充実	4	生命を尊重する心やいじめを許さない態度などの道徳的実践力を育てる活動を実施している。	2.63		2.59		2.85	多様な子どもたちが関わり合い、育ち合えるために、イエローリボンの活動に期待している。 ・廊下ですれ違った子どもにあいさつをするとかたちの良い返事が返ってくる。 ・悩みをもっている子どももいるだろうが、どのような指導をしているのかに気がなった。地域としても子どもたちの笑顔を守っていきたいので、できることがあればいっしょに考えていきたい。	学級通信を発行されている先生は、道徳の授業に関しても発信できるとよい。 ・学級懇談会で道徳科の学習について話しをすることを検討する。 ・学校だよりや学年通信で道徳の授業について積極的に発信する。
	5	道徳科の授業・評価に関する研究や資料の開発・整備・交流を行っている。	2.21	2.51	2.24	2.53			
	6	保護者等への道徳の授業公開を行っている。	2.68		2.76				
体力づくり	7	たくましい心と体を育てる魅力ある授業の工夫改善を行っている。	2.37		2.52		2.77	学習にきている児童に関しては、放課後しっかりと体を動かして体力向上につなげていきたい。 ・ゲームだけでなく、もっと外でも遊んでほしい。	運動会に向けての学習に費やす時間や競技時間の目安をを体力向上部会から提案することを検討する。 ・定期的な体育のOJT研修を実施する。
	8	体力づくりを推進する運動実践をしている。	2.32	2.44	2.55	2.55			
	9	体を動かす気持ちよさを体験させ、進んで体を動かそうとする意欲の育成を行っている。	2.63		2.59				
指導改善 (組織的・計画的)	10	学力向上を目指した指導体制・指導方法の工夫や改善を行っている。	2.37		2.66		2.88	工夫された楽しい授業で子供たちがイキイキしていると感じた。 ・学童で宿題を済ませてから遊びに行ったり、帰ったりする子どもが多いことに驚いている。 ・三自の学習(逢坂小学校式自由進度学習)の掲示を見た。子どもが自分から進んで学ぶ基礎づくりを頑張っていることが伺えた。	会議に関しては計画的に行うと共に、内容の精選を行う。 ・公務の負担感に関しては、校務DXを行って作業の効率化を進める。その内容を先生方同士で共有する。 ・部会や職員会議等で行事などの精選を行う。 ・指導改善に関しては校内研究と合わせて行うとともに、校内研究通信の発行やOJT研修を行っていく。
	11	教職員の指導力、情報活用能力、及び組織的な教育力の向上に努めている。	2.53		2.69				
	12	子供自身で学習課題を立てたり、学習の流れを考えたりする自律的な学びを意識して授業を行っている。		2.35	2.41	2.45			
	13	子供の個性や特に伸ばした教育力、教材、学習時間、学習の場など個別最適な学びを意識した授業を行っている。			2.52				
	14	子供自身が力がついた点や、よく力がつかなかった点を元直し、次の学習につなげられるような振り返りを行っている。			2.34				
	15	校務の効率化など多忙化解消の取組と教育活動の質の改善を行っている。	2.16		2.07				
育ちと 学びを 支える 連携	① 家庭・地域との 連携	16 保護者の子育てに対する積極的な支援を行っている。	2.37		2.28		2.79	保護者の授業参観では「子どもたちが何を考えて、何を感じているのか」をもう少し知ることが出来れば良いと感じます。 ・ホームページでの情報発信をこまめにしておりよい。 ・毎月発行している学年通信を学校運営協議会の委員が目にする機会があってもよい。 ・地域人材の活用を広げることにに関しては、余地があるように感じる。 ・今回CSIに参加して初めて学校の細かな取り組みが知れた。CSI以外でも保護者が学校の様子を知れる機会があってもいい。	普段から保護者と連絡を密に取っておく。 ・教育相談体制の周知の方法を検討する。
		17 保護者・地域との交流や情報発信、参観、懇談会、研修会の実施、地域人材の活用をしている。	2.58	2.49	2.66	2.49			
		18 防災教育の推進、感染症対策の推進等、安心・安全な学校づくりを行っている。	2.53		2.55				
	② 保幼小中の 連携	19 子どもの校種間交流や教員の出前授業を行っている。	2.63		2.55		2.62	今後も幼稚園と小学校双方の研究保育・授業に参加し、来年度に関してはその頻度も増やしていきたい。 ・架け橋期の合同研修会で教員同士の関係が向上したように思う。	保幼小の連携に関しては、架け橋期カリキュラムの作成を通して増えたと感じる。一方で、一部の先生のみで行っているのではなく、様々な先生方もそれらに関わることができる機会を作っていく。(但し持続可能な方法とする。) ・中学校の連携に関しては保幼小中連携担当の先生や教務から中学校に働きかける。
		20 校種間の授業公開や合同研修会を行っている。	2.11	2.25	2.72	2.56			
		21 保幼小中の接続期の教育課程の編成等校種間のカリキュラム研究を行っている。	2.00		2.41				
組織的 体制の 充実	① 生徒指導体制の 充実	22 いじめや暴力行為、不登校等生徒指導上の諸課題の早期発見、日常的な予防指導に努めている。	2.63		2.69		2.85	心の健康観察は子どもの心に寄り添う大切なことで、たくさんの子どもたちの心を丁寧に受け止めていることがわかり、嬉しくなった。	今後も部会を中心として指導体制の充実に努める。 ・学年会やいじめ対策会議を定期的に行うとともに、即時の情報共有と報告、複数対応を心がける。 ・いじめ等対応について教職員の意識を高く持ち続ける共に、未然防止することにも注力する。
		23 生徒指導・教育相談体制の確立と組織的な推進している。	2.74	2.68	2.59	2.60			
		24 家庭・地域・関係機関との連携による指導を行っている。	2.68		2.52				
	② 特別支援教育の 充実	25 個別的教育支援計画及び個別の指導計画の作成と活用をしている。	2.79		2.83		2.69	色々な個性・特性(あるいは障がいをもつ子ども)に応じた教育・指導が特に難しいと考えるが、校外の機関とも連携していきながら全員が楽しく卒業できるようにして行っていきたい。	特別支援に関しての取り組みを今後も充実させていく。 ・同時に一部の教員に負担が偏らないような仕組みづくりと分担が重要。
		26 組織的・計画的な特別支援教育体制の確立をしている。	2.79	2.77	2.62	2.72			
		27 関係機関と連携した相談体制の充実に努めている。	2.74		2.72				
学校満足度	28	児童生徒の学校満足度	2.47		2.31			地域と学校がともに子どもの成長に関わることで、子供タッチの学校満足度をもっと高めることができる。	児童アンケートの結果を踏まえながら児童の学校満足度の向上に努める。 ・児童アンケートでは、概ね肯定的な意見が多い一方で「勉強が好きですか。」の質問に関しては、年齢が上がるにつれて肯定的な意見が減少する。子供が学ぶことにワクワクできるような授業や環境の設定、指導の工夫が必要。

読書活動	29	朝読書等の読書活動の積極的な取組	2.47		2.48		・学校独自で学年ごとに読みたい100冊などを作らないと子供が選ぶ指針がないと考えます。 ・読む本の内容を精選する必要があるように思います。 ・本の内容をもっと精選してもよいような感じがする。学級文庫の本と子供達の興味を持っている本が少し異なるようにも思う。 ・キャラクターの図鑑を読む児童が多く、物語などのお話を読む児童が少なくなったと感じる。	3.00	・ボランティア活動のブックママ・パパは幼稚園にも来てくださっているの、幼稚園でも読書活動の充実につなげていきたい。 ・教員でおすすめの本を持ち寄る？ ・図書館司書ボランティアの方との連携。 ・委員会活動の充実。	
体験活動	30	環境教育等体験活動の積極的な取組	2.63		2.83		・大変、意欲的に取り組んでいると思う。日々多様な学校においては、精選していく視点も必要かもしれない。 ・フワフワバスケットの取り組みがとてもいいと思います。できれば継続してほしいです。 ・いろいろな活動をさせたい思いはあるが、時間の確保が難しい。 ・環境教育は本校の特色の一つとして、常に充実させていきたいと思う。総合や生活科等の学習で終わらせずに、日常の学校生活でのエコ活動とつなげて、環境学習と実践の両輪を大切にしていきたい。	2.77	・夢づくり委員会の子どもとじかに関わられたのがよかった。 ・授業以外でももっと土に触れる機会を創出することで、子どもの育ちが変わってくると考える。 ・エコスクールとしての取り組みがよかった。	・今後も逢坂小学校の強みを生かしていく。

※	児童生徒アンケートのすべての評価の平均値(3点満点、小数第2位まで記入)	2.36		2.37	
※	保護者アンケートのすべての評価の平均値(3点満点、小数第2位まで記入)	2.17		2.18	